

◆「経済倶楽部講演録」

バックナンバーのご案内

＊1月号 田原総一郎「時代を読む」 小泉悠「2024年のロシアを見通す」 加藤出「金融緩和と競争再燃の行方」 海外最新キャッチュレス動向」 飯尾潤「有権者は神様です」で民主政は機能するか」

＊12月号 柯隆「高まる東アジアの地政学リスク」 辺真「日韓対立の原因と今後」 望月衣塑子「民主主義とは何か」 安倍政権とメディア」 福田耕治「英国EU離脱延期問題とEU統合の行方」

＊11月号 曾我豪「2019参院選の面白さを新聞は伝え切れたか」 長尾年恭「南海トラフ巨大地震と対応策の課題」 大庭三枝「米中対立とASEAN」 「漁夫の利」か「統合の溶解」か

【編集後記】

「桜を見る会」の招待者名簿は官の記録そのものが存在しないことが明るみに出ました。この政権下で行われた公文書の改ざんや隠蔽の数々を考えれば、この政権が公文書の意義をないがしろにしてきた事実は拭い様がありません。そしてIR法案を巡る贈収賄事件は、この法案の成立を強引に推し進めた与党議員の多くが汚い金を懐に入れていた事実を明らかにしつつあります。また、麻生副総理による「日本は単一民族」発言も、およそ資質に欠ける人間が政府の中核に居座っている現実を改めて浮き彫りにしました。そして何よりも恐ろしいのは、これほど明らかな民主政治の危機的状況にも関わらず、内閣支持率が高止まりしていることです。

次号は藤原帰一氏「潮流2020 動乱の世界」、柿崎明二氏「独裁とねじれ」、高橋洋一氏「2020年の日本経済を読む」、鵜飼秀徳氏「寺院を活かす地方は蘇る」を掲載予定です。

東洋経済 経済倶楽部講演録 (2020年2月号)

2020(令和2)年2月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 駒橋憲一 編集人 柴生田晴四

発行 東洋経済新報社
編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <https://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 東港出版印刷

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉